

13 三郷小学校 地域とともにある学校づくり

小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）

中学校区の目指す子ども像	共生「他者を尊重し、多様な人たちと協働しながら社会の変化を乗り越え、幸せな人生をつくる力」を身に付けた生徒
我が校の目指す子ども像	高め合い ともに伸びようとする子ども



小中一貫教育の具体的な取組		
	我が校の取組	中学校区の取組
実現に向けた重点的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや地域の実態に即した小中9年間の一貫した教育課程の実施 中学校区共通のリーフレットを用いた保健指導と家庭への啓蒙。家庭と連携した「我が家の取組」によるアウトメディア指導の実施。 参観日における人権教育、同和教育の授業公開とお便りでの家庭への発信。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや地域の実態に即した小中9年間の一貫した教育課程の編成 「地域子どもを育てる会」と連携した中学校区の健康課題に基づいたリーフレットの作成、継続的な健康教育や食育の実施 人権教育、同和教育の授業公開
	成果○と課題■	成果○と課題■
	<p>○アウトメディアを含む生活習慣の改善指導に家庭と連携して取り組むことができた。</p> <p>○中学校区で連携し、人権教育、同和教育を推進することができた。</p> <p>■小学校から中学校への円滑な接続のために、中学校区で情報交換の場を設け、共通理解を図っていけるとよい。</p>	<p>○自己理解、他者との関わり、学習習慣の3つの観点から、小学校卒業時の目指す子ども像について検討し、共通理解を図った。</p> <p>■小学校から中学校への切れ目のない教育の実現に向けて、中学入学時に背伸び感が出ないように、高学年の目指す姿についての検討を必要に応じ、行っていく。</p>

〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉

取組の概要	主な活動内容	
地域の教育資源を活用し、その道の達人に学び、五感に響く体験活動と体験と思考をつなぐ表現活動を設定した。地域の人、もの、こと、自然に触れ、学ぶ中で、ふるさとへの愛着を深めることができた。さらに、学習のまとめと地域への発信を通して、目的に向かって、友達と協力し合いながら主体的、意欲的に取り組む姿を実現することができた。	生活科	「からふるチャレンジ大作戦！」(2年)
	総合	「つばさ探検隊～三郷のお宝を発見せよ～」(3年)
	総合	「考えよう食の事！育てようあおぞら米！」(5年)
学校運営協議会の評価 ・三郷地区の自然や歴史、文化に触れ、伸び伸びと活動する姿があり、実体験を通して様々な力が育っていると同時に、故郷愛を深める契機となっていることが伝わった。 ・どの学年の活動も、子どもたちに貴重な経験、広い生きた知識を与える機会となっており、大きな成果である。	○	当てはまる
		どちらかという当てはまる
		どちらかという当てはまらない
		当てはまらない

スクールマネジメント実践報告書

学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	2	保護者	2	住 民	7	その他		合計	13人
学校運営協議会の回数 ※（ ）は、回数内における紙面協議回数	学校単独	1学期	1回 (0)	2学期	1回 (1)	3学期	1回 (1)	合計3回	(2)
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1学期	0回 ()	2学期	0回 ()	3学期	0回 ()	合計0回	()
活動の内容					成果○と課題■				
<ul style="list-style-type: none"> ・夢・志チャレンジ事業推進のために、学校の要請に応じて人材を紹介し、学校における地域の教育資源の活用に尽力した。 ・マラソン練習の見守り活動、学校消毒活動などのボランティア活動を通し、学校の教育活動に積極的に協力した。 ・学校評価の結果を受け、来年度に向けたランドデザイン改訂に書面協議という形で参画した。 					<p>○学校からの要請に応じた地域人材を紹介することができた。</p> <p>○マラソン記録会等の学校行事に協力し、普段交流のない児童や、地域住民、保護者と触れ合うことができた。</p> <p>○コロナ禍で制限のかかる状況ではあるが、それぞれの活動で工夫して取り組めた。</p> <p>■コロナ禍で書面協議が重なった。会議を通じて互いの意見をやり取りする場があれば、より議論が深まっただろう。今後は、オンライン会議等の方法も検討するとよい。</p>				

総 括
<p>コロナ禍における活動制限で、学校運営協議会での熟議がままならず非常に残念だった。改めて対面コミュニケーションの重要性を感じた。</p> <p>一方で、行事等の教育活動への協力や書面協議を通じて学校運営に参画することができ、その中で学校と地域とが繋がる意義を再確認できた年でもあった。</p>

〈活動写真〉



○2年生の野菜栽培活動では、地域の畑の先生方に教わりながら、夏野菜、秋野菜作りを体験した。子どもたちは、「育てることの大変さ」や「毎日継続することの大切さ」「協力する喜び」など、多くのことを学んだ。



○3年生の地域探検、地域の伝統芸能伝承活動では、神社、公園、春駒、七重の塔、布施長者伝説などを「三郷のお宝」に認定し、リーフレットにまとめた。様々な活動を通して、三郷のお宝を大切にしたいという思いを高めた。



○5年生の稲作体験活動では、地域の先生方に教わりながら、米の生産から販売までを体験した。活動を通して、農作業の様子や大変さについて知るだけでなく、仲間と協力することの大切さも学ぶことができた。